

No Picture Is Mounted In The Picture Frame.

The Picture Frame

Itself Has

No Ornaments.

It Is Without Color.

Of

Of Picture

2 Men Are Collecting Heaps

Of

Frames

Frames.

Frames.

They Are Stacking.

The Frames,

End

On

End.

Why Are They Doing This?

Absolutely No Explanation Is

Given.

Given.

The Stacked-Up Picture

Frames Will Eventually Become

Before

Anyone

Knew It.

The Box Was Filled

With

Laughs.

RAHMENS 16th

T E X T

2012年 7月14日 映像例会  
ラーメンズ 第16回公演 「TEXT」

▼はじめに

皆さんは、ラーメンズをご存知でしょうか？ 以前から知っていたという方も初めて知ったという方も、今回の映像例会を楽しんで頂ければと思います。

さて、なぜ、あまりミステリとは関係がなさそうなこの作品を、今回の例会に選んだかと言いますと、ラーメンズの笑いが、伏線が解かれたときに起こる面白さ、思わず「ほう…」と言いたくなる面白さ、「そう来るか！」という驚きに駆られる面白さ、これはミステリに通じるものがあるように思ったからです。本日は皆さんと一緒に楽しく、笑って、ラーメンズを堪能できれば、こんなに嬉しいことはありません。最終的に、「ミステリとあんまり関係ないじゃん？」という結論に達しても、私は本望です。それでは、ラーメンズについて語り合しましょう。

I. **Why Are They Doing This?**

▽ラーメンズとは、何者か？ 公式サイトとウィキペディアより引用させて頂きました。

\*ア) **RAHMENS【らーめんず】**

舞台上でコント作品を発表する男性ふたり組。

名称の由来は妙論が複数。トゥインクル・コーポレーション所属。

**片桐仁【かたぎりじん】**

ラーメンズのひとり。長髪で眼鏡の風貌が印象的な怪優。

**小林賢太郎【こばやしけんたろう】**

ラーメンズのひとり。脚本・演出を担当。

これまで、ラーメンズ以外にも「K.K.P」(小林賢太郎プロデュース公演)や「Potsunen」(小林賢太郎ソロコントプロジェクト)など、小林賢太郎が脚本・演出を担当した公演は数多く行われている。二人とも多摩美術大学出身で、大学時代は「オチ研」(落語研究会)に所属していた。と、いっても落語で活動していたわけではなく、コント作品を発表したりゲリラライブを行っていたりしたらしいです。

片桐仁と小林賢太郎がコンビを組んだのも大学時代のこと。この耳慣れない「ラーメンズ」というコンビ名。その由来には、妙論が多数あるようです。

\*イ) コンビ名の由来は公式には明らかにされていない。

一説として、ドイツ語の「枠」(der Rahmen) からとったというものがある。これは NHK 教育の「トップランナー」に出演した際に小林が語ったもので、要約すると、『ドイツ語の文法上、Rahmen は複数形になっても s はつかないが、そこに無理矢理英語の s をつけて複数形にしている。これは、枠が複数積み重なると面ができ、そしてそれは箱になる。

箱はラーメンズが唯一使うセットであり、他にも劇場のことをハコといたり、台本の粗書きのことを箱書きといたりする。そんな風に、自分たちの活動の中で箱という概念が非常に多く出てくるから…という由来なんじゃないですか?』と言ってきたファンがいて、『そう』と答えてしまったので使っている。

「すごくカッコいい由来なので、雑誌等で言まくっている。なんてことを考えているんだよね」などと言い、その後、「本当は食べるほうのラーメンだ。」などと煙にまいてるので、真相は不明。(後略)

表紙にあるテキストを訳すと、だいたい上記のようなことを言っているように思うのですが、どうでしょうか? 誰か、英語が得意な方、ぜひ訳してください。

この素敵な OP は、「teevee graphics」制作だそうです。表紙で再現しようとして私は途中で力尽きました。

なんとなく、ラーメンズの概要が分かって頂けましたでしょうか? 『百聞は一見にしかず』ということで、観れば分かる! ということは、本日の例会でラーメンズを観た皆さんはもう分かったはず! と信じて、どんどん進みます。

\*\*\*\*\*ここからは容赦なくネタバレを含みますので、ご注意を!\*\*\*\*\*

## II. No Picture Is Mounted In The Picture Frame.

▽ここからは、各コントについて他のコントとの関連や伏線について考察していきます。

### 『50on5』

\*ウ) 学校教材をつくる会社。上司から部下に、新しい五十音ポスターを作れとの指令が出された。上司や部下やバイト、五つの役柄を二人で入れ替わりながら演じる。

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをん作文を作りたくなりますね。だいたい「る」をつければ何とかなる気もしますが、そこまで甘くないのが五十音語です。

伏線としては、この会社が学校教材をつくる会社であることが、「銀河鉄道の夜のような夜」に関連していくのではないかと思います。そして、五十音語。後述にてまた触れます。

初めてラーメンズを観る方には、何でここで笑うの？と思ったかと思われる個所の解説を。

片桐「ソリューションってのはあれですよ、粗末なイリュージョンですよ」

小林「……お？ それは、そんなわけねえだろ、的、なことでいいのかな？」

ここで、コントの関連が登場します。

詳しくは、ラーメンズ第九回公演「鯨」『器用で不器用な男と不器用で器用な男の話』をご覧ください。

### 『同音異義の交錯』

上手と下手に分かれ、それぞれが一人芝居をする。全く異なるシチュエーションだが、途中途中の言葉が、同音異義語や似ている言葉、状況などでシンクロしている。

■ 1 ■ 『商店街』『冒険家』

■ 2 ■ 『宇宙生物』『会議資料』

小林 牛乳をもって「もう酸化しちやってるよ」

「銀河鉄道の夜のような夜」のキーアイテム、牛乳の登場です。

■ 3 ■ 『爆弾魔』『モテない君』

小林 「リーン、ガチャ。はい捜査課！ 何？ 河原で泥団子が爆発した？」

「銀河鉄道の夜のような夜」に似たようなフレーズがありましたね。

■ 4 ■ 『同僚の電話相談』『みんなでカレー』

それぞれの一人芝居が終了後。

暗転 SE (電車の連結音) ガシャン 明転

電車の連結音によって、二つの異なる話が交錯する。

果たして、ここで電車の音がするのは？ 伏線ですね、『銀河鉄道の夜のような夜』の。

### 『不透明な会話』

二人、椅子に座って会話。

冒頭の信号機の話は、なんとなく「銀河鉄道の夜」に登場するかがやく三角標を彷彿とさせるのですが、少々こじつけのような気がしますね。

さて、このコントは、激しい動きはありませんが、何故か最後まで耳を傾けてしまいます。日本語の表現は、どこまでも広がりを見せてくれるように思います。「悪魔の証明」が引き合いに出されることもあるみたいですが、果たして透明人間はいるのか、いないのか。

小林「……んん？ 今どっちだ？ 一回話を整理しよう。その、逆・非・不透明人間・以外ってのはおいといて」

片桐「お、脱・逆・非・不透明人間・以外ってことだな？」

どなたか、この状況を整理してくれませんか。透明人間？ 不透明人間？ どっち？

そして、伏線がありました。

小林「お前って、どんな理不尽な条例が出て、あっさり従っちゃうタイプだな」

片桐「なんだよ理不尽な条例って？」

小林「『タンカ条例』とかだよ」

言わずもがな、次のコント「条例」に繋がっていきます。

#### 『条例』

他愛もない会話をするふたり。ある条例が出る。それにしたがって、もう一度その会話をする。さらに厳しい条例が出る。それにも従って、同じ内容の会話をこなす。最後には言葉が禁じられるが、動きだけで会話は成立する。

片桐「あの店凄えの売ってるんだよ。おそらくは法律的にヤバイヤツ。小指サイズのタヌキとキリン。こいつらが闇で取引されていて、アホほど高く売れてるらしい」

なぜ、小指サイズのタヌキとキリンにこだわるのか、と思っていた方もいると思いますが、言葉禁止条例への伏線でしたね。「うちの嫁がこれがこれでこうなんですよ……」しかしながら、なぜ、最後にふたりが逮捕されてしまったのか、というところには色々と物議が（ネット上で）醸されているようです。皆さんと一緒に考えてみたら面白いかな、と思いますので、意見のある方は是非。

#### 『スーパージョッキー』

\*1) 「怪傑ギリジン」「路上のギリジン」「タカシと父さん」「現代片桐概論」などに代表される、一人だけが良く喋り動くがもう一人はほとんどセリフを話すこともなく静止しているだけの形式のコントも多々ある（小林は『やってはいけないことではないのに、誰もやっていないこと』と称する）。

ちなみに、8 枠 16 番『ゴールデンボール』（馬の名前）は、おそらく、『Rahmens presents Golden Balls Live』という公演との関連の上に名付けられたものと思われます。こちらも面白いので是非、観てみて下さい。

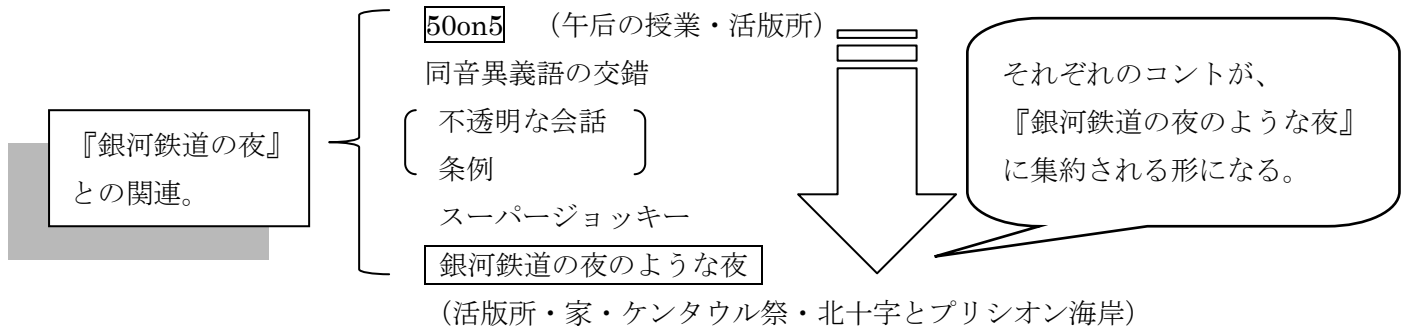
#### 『銀河鉄道の夜のような夜』

登場人物

- 常盤（トキワ） — ジョウバン — ジョバンニ
- 金村（カネムラ） — カンパネルラ

「銀河鉄道の夜」の登場人物、ジョバンニとカンパネルラを文字っていますね。

## 「TEXT」の構造



### 50 on 5

・「銀河鉄道の夜のような夜」は、列車の中でのしりとり、そして活版印刷所から始まります。しかし、「銀河鉄道の夜」は、学校の授業の場面から始まります。50on5の舞台は、学校教材をつくる会社です。ここに「学校」という「銀河鉄道の夜」との関連が見られるように思います。また、活版印刷所では、ピンセットで文字を拾って箱に詰めて、紙面を作ります。日本語の原点、五十音語がここで重要な色を見せるように思います。

#### 同音異義の交錯

・電車の連結音で、異なるシチュエーションがシンクロし、交錯する場面がありました。「銀河鉄道の夜のような夜」では、同音異義語の交錯とは、逆のことが起こります。交錯していたかに思えたことばが、実は一步通行だった。しかし、その余韻は残っていたことが、心にじわりと温かいものを滲ませる由縁ではないかと個人的に思います。

#### 不透明な会話

・「なんだよ、透明人間あつかいすんなよ」この一言が、ぐっときますね。

#### 条例

・新聞の紙面の字をよく間違えてしまう。『アジアの小国、言葉禁止条例に国民がクーデター』、「不透明な会話」との関連に加え、「銀河鉄道の夜のような夜」とも関連が見える。新聞という小道具にもこうした繋がりが見えると、次はなんだろうとワクワクしますね。もっとも顕著にコントとコントの関連が見える箇所だと思います。

#### スーパージョッキー

・一億円の馬券。オチに関わる重要な関連が見られます。「銀河鉄道の夜のような夜」の切ない雰囲気の前に、あれだけテンションの高いコントが行われているので、当然、落差が生まれます。よりしんみりと切ない、けれどじんわりしてしまう、そんな効果が生まれるように思います。

### 銀河鉄道の夜のような夜

・～ような夜、とあるように、「銀河鉄道の夜」のオマージュが見られます。すべてのコントがここに集約され、笑いながらも感動してしまう。

\*<sup>㊦</sup>「カンパネラ、また僕たち二人きりになったねえ、どこまでもどこまでも一緒に行こう」……「銀河鉄道の夜」の名場面が、思い出されてきませんか。

コント終了後、流れる BGM にもぐっときます。音楽の担当は、徳澤 青弦さんです。

### III. The Box Was Filled With Laughs.

いかがでしたでしょうか。何だか意気込んだわりには、上手くまとめられなかったように思いますが、この例会をきっかけに、ラーメンズについて語り合ったりできればいいなあと思います。「TEXT」は、コントという舞台——三次元の空間でありながら、小説を読んでいるような想像力が掻き立てられたりします。しかしながら、舞台だからこそ成立する、ことばを耳で聴いて「はっ」と気づく日本語の面白さがそこにはあります。同音異義語は、日本語だからこそ生れる言葉遊びです。日本語は、言葉遊びが、本当に豊かです。

ミステリも叙述トリックや表現の仕方で読者のミスリードを誘ったり、巧みに読者の目を犯人から逸らしたりします。ミステリの面白さも、ことばの面白さに繋がるものがあるのではないのでしょうか。まとまった！……のか、どうかは自信がありませんが、異色の例会として楽しんで頂ければ、思い残すことはありません。皆さん、長時間ありがとうございました。

#### 《参考文献・URL》

1. 表紙および本文中のタイトルは、すべて『ラーメンズ 第 16 回公演 「TEXT」』の OP 映像にあるテキストより引用した。
2. 引用文
  - (ア) ラーメンズ公式サイト：  
<http://rahmens.net/about.html>（最終アクセス日：7月8日）
  - (イ) ウィキペディア：  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%82%BA>（最終アクセス日：7月13日）
  - (ウ) 小林賢太郎 『小林賢太郎戯曲集 STUDY ALICE TEXT』  
幻冬舎 2009年3月30日 第一刷発行
  - (エ) 宮沢賢治 『銀河鉄道の夜』 ハルキ文庫 2011年4月15日 第一刷発行